

やまびこ

第 13 号 平成 28 年 1 月
編集・発行 掛川地域力向上委員会
Tel・Fax 0561-48-6165
E-mail: Kakegawatiikiryoku140510@gctv.ne.jp

迎春 丙申

本年も「やまびこ」をよろしくお願いします

下半田川町牛臥山から望んだ御嶽山

モリコロ花壇の模様替え

11 月下旬、コミュニティグループのメンバーが中心となって両町の町内花壇の模様替えをしました。今回はパンジーのほかに、初めてシロタエギクを使いました。シロタエギクについては次ページに解説を載せました。



花苗を植える準備 定光寺町並木花壇にて



シロタエギクとパンジーの植え付け
下半田川町天神橋 モリコロ花壇にて

シロタエギク



シロタエギクは、地中海沿岸原産のキク科植物で漢字で書くと、「白妙菊」です。葉や茎には、細かい白い毛がつき、株全体がシルバーに見えることから花壇や、寄せ植えのアクセント素材に多く利用

されています。シロタエギクは寒さに強く、霜や雪に当たっても元気に生育するため、花の少ない冬花壇を明るく輝かせてくれる植物としても重宝します。日本では、6月か7月頃に黄色い花が開花します。

蓮池周辺の 草刈りをしました

11月19日(木)、定光寺直入橋が架かっている蓮池周りを有志で草刈りしました。



定光寺町の祭祀(民間信仰)

祭祀の会(町として)として行われている行事は、「水神様」「地神様」「金毘羅様」「お薬師様」「秋葉様」「お稲荷様」また、各島で行っている行事が、「山の神様」「お愛宕様」です。

今回は、各島でお祭りしている「山の神様」をとりあげました。現在、東島では毎年3月と12月の第1日曜日に行われ、3月(春)は田の神、12月(冬)は山の神の祭り

が行われています。早朝集まり、神前で焚火をし、お参りします。酒のさかな「いわし」を焼いてお神酒をいただいてお開きになります。

昔はこの日に山仕事をすると怪我をしたので絶対山には行かなかったといえます。各島にそれぞれ山の神様をお祭りしている所があり、中島は3月と12月、西島は3月に行っています。

山の神 柴田昌乃



写真で見る **かけがわっ子ひろば** の歩み

この4月、「かけがわっ子ひろば」が保護者会運営でスタートし、10月には念願の瀬戸市と掛川地域力向上委員会との委託契約による運営に切り替わりました。

この8か月間の歩みをまとめ、11月に開催された掛川公民館まつりで子どもたちの作品とともにパネル展示で紹介されました。（写真上段二つ）

ボランティアや地域の皆さんたちの協力のもと、夏休みや冬休みにはいくつかのイベントを実施し、運営も充実したものになってきました。



定光寺で座禅体験 8/27



流しそうめん 八剣社境内 8/1



開所式後の
部屋での様子 10/1



藁草履作り 7/23



ハロウィンの仮装
10/27

下半田川町の歴史散歩

いしろうじ ほうきょういんとう 蔭昌寺跡の宝篋印塔

富田幹夫

宝篋印塔は、「宝篋印陀羅尼」の経文を塔内に納めて供養するものとして成立しましたが、後に墓碑塔や供養塔としても建てられました。

瀬戸市下半田川町の蔭昌寺跡（八劔社南東の山麓）に、花崗岩製の宝篋印塔（写真の左側）と硬質砂岩製の宝篋印塔（右側）の二基があります。蔭昌寺は定光寺（1336年創建）の塔頭の老師の隠居所として建てられ、後に、春日井市外之原の林昌寺に移築されたという伝承があります。定光寺の『祠堂帳』に「半田川」の地名が1400年代に記されていますが、宝篋印塔の由来は不明です。



蔭昌寺跡の宝篋印塔

宝篋印塔の笠の下の方角柱の部分を塔身といいます。砂岩製（右側）の塔身に蓮華座と月輪が刻まれています。塔身の蓮華座上花卉の先端が隣の花弁に食い込

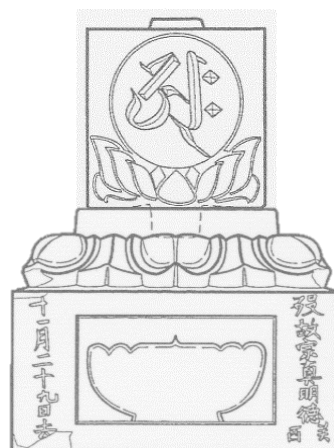
み、蓮華座の上花卉と月輪が離れている様式は14世紀末葉から15世紀前葉に作製された宝篋印塔の特徴です。

塔身の下部分は基礎と呼ばれ、基礎の格狭間上端中央の突起先端が輪郭から離れているのは、14世紀末から15世紀に作製された石塔の特徴とされます。

岐阜県多治見市根本町の石塔の形式が下半田川町の石塔と類似し、これには明徳癸酉（1393年）の銘があります。これらの情報から、砂岩製の宝篋印塔は、1400年前後に作製されたと推測されました。花崗岩製の石塔は、笠の隅飾りが垂直であることから、これも古い時代に作られたと思われます。



塔身部分と返花



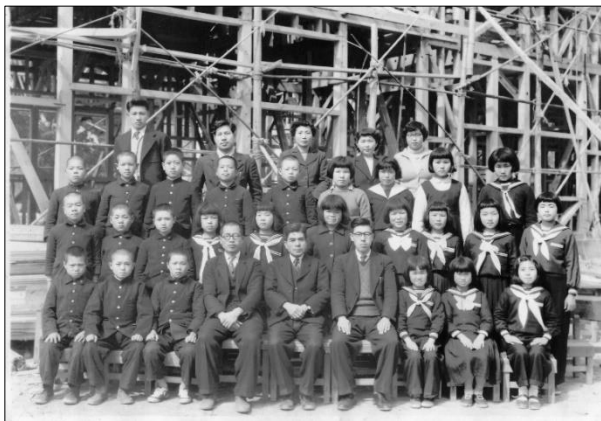
根本石塔の塔身と基礎

尾張・三河地方には美濃地方と比べて、中世の五輪塔や宝篋印塔が少なく、特に瀬戸市内では、これほど完全な姿の古い宝篋印塔は他に残っていません。

（図は「東海＜美濃＞の砂岩製宝篋印塔の分布と編年、2012年」から引用しました）



掛川小学校の沿革 2/3

年 代	で き ご と
昭和 9 年	町制施行により品野村が品野町となり、両村はそれぞれ品野町大字下半田川、品野町大字沓掛となる。
昭和 16 年	掛川国民学校 国民学校令施行
昭和 22 年	東春日井郡品野町立掛川小学校 学制改革により国民学校が廃止され 6・3 制はじまる。(新制小中学校への改組)   つん張り校舎全景 つん張り校舎校庭
昭和 29 年 ～ 昭和 30 年	- 校舎改築のためつん張り校舎東半分の2教室、東の離れ校舎1教室 計3教室を全学年6クラス分に充て、二部制の授業開始。(12月13日)(職員室は裁縫室へ移転) - つん張り校舎西側半分の解体作業に入る。(12月15日) 29年度の卒業記念写真は、できあがった新校舎の骨組みをバックに撮られている。 - 解体した西側半分のつん張り校舎跡地に木造一部二階建て校舎竣工。(5月25日)  昭和 29 年度卒業生 昭和 30 年 3 月撮影
昭和 33 年	新しい給食室校舎西側に完成。(6月6日)
昭和 34 年	瀬戸市立掛川小学校 品野町が瀬戸市に合併。(4月1日) 地名の呼称はそれぞれ瀬戸市大字下半田川、瀬戸市大字沓掛となる。
昭和 35 年	残り東半分の校舎が改築され、この部分は教室兼講堂として使用。 (児童数が少なくなって複式学級になったときは全校児童が一堂に会して給食をとる部屋として使用されたこともある。) これ以降全館つん張り棒のない新校舎となった。
昭和 39 年	瀬戸市内 21 の大字に対して新たに町名設定がなされ、瀬戸市大字下半田川は瀬戸市下半田川町、瀬戸市大字沓掛は地名変更し瀬戸市定光寺町となった。(10月1日) これに先立って沓掛では地名変更のための住民投票が行われ、定光寺町という新しい町名を選定(8月)
昭和 44 年	運動場造成のため校庭南下の田んぼを埋め立て整地始まる。
昭和 45 年	南運動場完成。

掛川小学校卒業生の声

ふるさとで遊んだ 思い出の山河

瀬戸市三沢町 松本博司

松本博司さんは昭和 29 年 3 月に掛川小学校を卒業。現在は三沢町の在住で、退職後は郷土史の研究に熱心に取り組んでおられます。

実家は定光寺町中島、しだれ桜のあるあの民家です。高祖父は掛川小学校初代校長の松本茂左エ門、そして祖父はつん張り学校を造った当時の松本儀校長です。

小学校低学年の夏休み、暑い昼下がりに幼なじみの莊ちゃんと“水浴びに行く”と誘い合って大道橋のたもとへよく出かけたものです。

県道の公園東交差点西にあった大道橋は、現在では人が通れる程度の小橋に架け替えられ、川に添った旧道の片隅に日露戦争戦役記念碑がひっそりと建っています。今はここから西側にかけて定光寺公園が造成されていますが、昭和 30 年代前半までは周り一面に稲穂が実る田園で、よくイナゴ捕りをしたものです。

大道橋の少し上流で大洞川と杵ヶ洞川が合流し川幅が広がっていました。かつてはこの川辺が子供たちの絶好の遊び場で、川をせき止めて深みをつくって泳いだものです。ここから眺める南方の小高い山を沓掛しろがねやまの人々は城嶺山と呼び JR 定光寺駅南の城嶺橋はこの名を冠した橋名です。現在の県道とは少し道筋が違うでしょうが、昔は徒歩で城嶺山麓の大洞峠を通して水野へ出たものです。水野の人々は城嶺山のことを一色山いっしきやまと呼び、山頂には磯村左近という戦国武将が住んだとされる一色城の址があり、金鶏悲話も伝わっています。同じ山が2つの名前で呼ばれているのは面白いですね。

定光寺公園の正伝池出水堰れきがん上に霊亀岩橋が架けられています。私の幼い頃は霊亀岩という巨岩が露出し、流水が岩の

上に溢れ滝となって流れ落ち、その滝つぼも子供たちの遊び場でした。この霊亀岩は県道拡張工事で埋没したと聞いています。ここから玉の川に至るまでの幽玄の世界へ誘うような溪谷を私たちは御手洗川みたらいがわと呼んでいましたが、時を経るといつの間にか名称も変わるもので瀬戸市公地図には定光寺川という川名が載せられています。

公園内に築かれた池は、御手洗川に沿った南側の山に因んで正伝池と名付けられました。この山の名称を一般的には正伝山しょうでんやまと書きますが、江戸時代に著された尾張誌や尾張名所図会には聖天山という文字が使われており、正殿山とも書かれるのでどれが正式名称かわかりません。

今では禁止されていますが沓掛の山々で野鳥を捕まえたり、きのこ狩りをしたりとよく野山を駆け回り遊んだものです。きのこがよく生えた稲垣山は今ではゴルフ場になってしまいましたが、幼き日々遊んだ故郷の山河は心の襞に追憶として刻まれています。今でも四季それぞれに移り変わる昔ながらの風情が残っており、いつまでも心に潤いを感じる我が故郷です。



大道橋から見た大洞川・杵ヶ洞川合流点。左の矢印は日露戦争戦役記念碑。